

「東日本大震災」被災地復興支援
 高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会
 大会期間:平成25年2月9日~2月12日 会場: いしかわ総合センター

2月12日(火)大会4日目(最終日)試合結果

女子 決勝

コートブロック

E	F3	秋田銀行 (東北1)	○	65	$\left[\begin{array}{ccc} 17 & 1P & 10 \\ 11 & 2P & 11 \\ 16 & 3P & 16 \\ 21 & 4P & 12 \end{array} \right]$	49	●	山形銀行 (東北2)	主審 中江 洋美 副審 池松 和久 副審 尾形 美樹
---	----	---------------	---	----	--	----	---	---------------	----------------------------------

男子 準決勝

コートブロック

E	M5	九州電力 (九州1)	○	84	$\left[\begin{array}{ccc} 21 & 1P & 20 \\ 21 & 2P & 21 \\ 21 & 3P & 21 \\ 21 & 4P & 19 \end{array} \right]$	81	●	新生紙パルプ商事 (関東4)	主審 阿部 聖 副審 小川 裕之 副審 青木 俊博
F	M6	曙ブレーキ工業 (関東5)	○	79	$\left[\begin{array}{ccc} 16 & 1P & 19 \\ 17 & 2P & 17 \\ 28 & 3P & 6 \\ 18 & 4P & 17 \end{array} \right]$	59	●	日本無線 (関東6)	主審 北沢 岳夫 副審 岩田 友幸 副審 山崎 真吾

男子 決勝

コートブロック

E	M7	九州電力 (九州1)	○	61	$\left[\begin{array}{ccc} 17 & 1P & 19 \\ 11 & 2P & 11 \\ 19 & 3P & 13 \\ 14 & 4P & 11 \end{array} \right]$	54	●	曙ブレーキ工業 (関東5)	主審 安力川 剛士 副審 黒岡 和哲 副審 井元 誠
---	----	---------------	---	----	--	----	---	------------------	----------------------------------

■ 最終結果 ■

男子

●順位

優勝	九州電力 (九州1) (3年連続4回目)
準優勝	曙ブレーキ工業
3位	新生紙パルプ商事
3位	日本無線

●個人賞

最優秀選手賞	九州電力#45根岸豪 (2年ぶり2回目)
敢闘賞	曙ブレーキ工業#9熊吉 (初)

女子

●順位

優勝	秋田銀行 (東北1) (5年ぶり7回目)
準優勝	山形銀行
3位	三井住友銀行
3位	鶴屋百貨店

●個人賞

最優秀選手賞	秋田銀行#13伊藤美和子 (初)
敢闘賞	山形銀行#10阿部愛美 (初)

「東日本大震災」被災地復興支援

高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会（金沢大会）

期間：2013（H25）.2.9～2.12 会場：かなざわ総合スポーツセンター

男子

Aブロック		九州	三菱	NTT東	阪神	勝	敗	勝点	順位	A
九州電力（九州1）		○	○	○	○	3	0	6	1	九州電力
三菱自動車（東海2）	●	100	80	86	0	3	3	4		
NTT東日本東京（関東10）	●	○	○	○	2	1	5	2		
阪神百貨店（近畿6）	●	○	●	○	1	2	4	3		

Hブロック		富士通	タツタ	四国	西野	勝	敗	勝点	順位	H
富士通（関東7）		○	○	○	○	3	0	6	1	富士通
タツタ電線（近畿1）	●	83	84	111	2	1	5	2		
四国電力（四国1）	●	○	○	○	1	2	4	3		
西野製作所（北陸2）	●	○	○	○	0	3	3	4		

Eブロック		新生	ホシザキ	信和	メデイ	勝	敗	勝点	順位	E
新生紙パルプ商事（関東4）		○	○	○	○	3	0	6	1	新生紙パルプ商事
ホシザキ（東海1）	●	76	90	94	2	1	5	2		
信和建設（近畿3）	●	○	○	○	0	3	3	4		
メデイセオ（関東11）	●	○	○	○	1	2	4	3		

Dブロック		葵	プレス	NTT西	小糸	勝	敗	勝点	順位	D
葵企業（関東3）		○	○	○	○	3	0	6	1	葵企業
プレス工業（関東9）	●	76	109	89	2	1	5	2		
NTT西日本大阪（近畿5）	●	○	○	○	0	3	3	4		
小糸製作所（東海5）	●	○	○	○	1	2	4	3		

Cブロック		三井	JR	日立	浪速	勝	敗	勝点	順位	C
JR東日本秋田（東北）		○	○	○	○	3	0	6	1	JR東日本秋田
三井住友銀行（関東2）	●	63	110	96	2	1	5	2		
日立笠戸（中国2）	●	○	○	○	0	3	3	4		
浪速酸素（近畿7）	●	○	○	○	1	2	4	3		

Fブロック		曙	黒田	豊田	北陸	勝	敗	勝点	順位	F
曙ブレーキ工業（関東5）		○	○	○	○	3	0	6	1	曙ブレーキ工業
黒田電気（近畿2）	●	74	90	114	2	1	5	2		
豊田自動織機（東海3）	●	○	○	○	1	2	4	3		
北陸電力石川（北陸1）	●	○	○	○	0	3	3	4		

Gブロック		無線	海上	三菱	重工	勝	敗	勝点	順位	G
日本無線（関東6）		○	○	○	○	3	0	6	1	日本無線
三井住友海上（関東8）	●	100	93	106	2	1	5	2		
三菱電機三田（近畿4）	●	○	○	○	1	2	4	3		
三菱重工長崎（九州2）	●	○	○	○	0	3	3	4		

Bブロック		横河	ナカシマ	宮田	イカイ	勝	敗	勝点	順位	B
横河電機（関東1）		○	○	○	○	3	0	6	1	横河電機
ナカシマプロペラ（中国1）	●	20	75	112	0	3	0	4		
宮田自動車（北海道）	●	○	○	○	1	2	4	3		
イカイレッドチンプス（東海4）	●	○	○	○	2	1	5	2		

優勝
（3年連続4回目）
九州電力

準優勝
曙ブレーキ工業

3位
新生紙パルプ商事

3位
日本無線

最優秀選手賞 九州電力#45根岸豪

敢闘賞 曙ブレーキ工業#9熊吉

女子

Wブロック		秋田	滋賀	日立	特別	勝	敗	勝点	順位	W
秋田銀行（東北1）		○	○	○	○	3	0	6	1	秋田銀行
滋賀銀行（近畿2）	●	67	89	114	2	1	5	2		
日立笠戸（中国）	●	○	○	○	1	2	4	3		
特別区（関東6）	●	○	○	○	0	3	3	4		

Zブロック		紀陽	三井	イカイ	丸紅	勝	敗	勝点	順位	Z
紀陽銀行（近畿1）		○	○	○	○	3	0	6	1	三井住友銀行
三井住友銀行（関東3）	●	56	81	61	2	1	5	2		
イカイ（東海）	●	○	○	○	0	3	3	4		
丸紅（関東5）	●	○	○	○	1	2	4	3		

Yブロック		山形	東京	TOTO	OTC	勝	敗	勝点	順位	Y
山形銀行（東北2）		○	○	○	○	3	0	6	1	山形銀行
東京海上日動（関東1）	●	60	77	66	2	1	5	2		
TOTO（関東4）	●	○	○	○	1	2	4	3		
OTCくきや（近畿3）	●	○	○	○	0	3	3	4		

Xブロック		鶴屋	メデイセオ	今治	第一	勝	敗	勝点	順位	X
鶴屋百貨店（九州）		○	○	○	○	3	0	6	1	鶴屋百貨店
メデイセオ（関東2）	●	92	99	86	2	1	5	2		
今治オレンジプロッサム（四国）	●	○	○	○	0	3	3	4		
第一生命（近畿4）	●	○	○	○	1	2	4	3		

優勝
（5年ぶり7回目）
秋田銀行

準優勝
山形銀行

3位
三井住友銀行

3位
鶴屋百貨店

最優秀選手賞 秋田銀行#13伊藤美和子

敢闘賞 山形銀行#10阿部愛美

大会名称: 高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会

開催場所: いしかわ総合スポーツセンター Eコート

試合区分: No. 18 男子 決勝

期 日: 2013(H25)年2月12日(火)

主審: 安力川 剛士

開始時間: 13:30

副審: 黒岡 和哲, 井元 誠

九州電力 (九州1)	○ 61	17	—	19	● 54	曙ブレーキ工業 (関東5)
		11	—	11		
		19	—	13		
		14	—	11		
		—	—	—		

3連覇を狙う九州電力と関東実業団5位の曙ブレーキ工業との対戦となった男子決勝。

第1ピリオド曙ブレーキ工業は#17田村と#9熊のインサイドで得点を重ねる。対する九州電力は、激しいディフェンスから持ち前の速攻で得点し、決勝戦らしい一進一退のゲーム展開。

第2ピリオドに入り、両チームとも決定力を欠き、なかなか得点が伸びず28-30のロースコアで曙ブレーキ工業が2点リードで前半が終了する。

巻き返しを図りたい九州電力は、第3ピリオド開始早々逆転に成功。

曙ブレーキ工業も#9熊のインサイドや#32藤原の3Pで対抗し、47-43で九州電力が4点差で3ピリオドを終了。

第4ピリオドは、足の止まった曙ブレーキ工業に対し、九州電力は速攻でジリジリと突き放しにかかるが、曙ブレーキ工業も#9熊や#32藤原の3Pで必死に食い下がり、残り2分を切って4点差とするも、最後まで冷静に試合を進めた九州電力が61-54で3連覇を達成した。

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。

曙ブレーキ工業は、#9熊のインサイドと#17田村のシュートで得点を重ねる。

一方の九州電力は、激しいディフェンスからの速攻で得点し、両チーム一進一退の展開となり、曙ブレーキ工業が2点リードで第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、引き続きマンツーマンでスタートするが、両チームとも決定力を欠き、なかなかシュートが決まらない。

ロースコアの展開となり28-30で曙ブレーキ工業が2点リードで前半終了

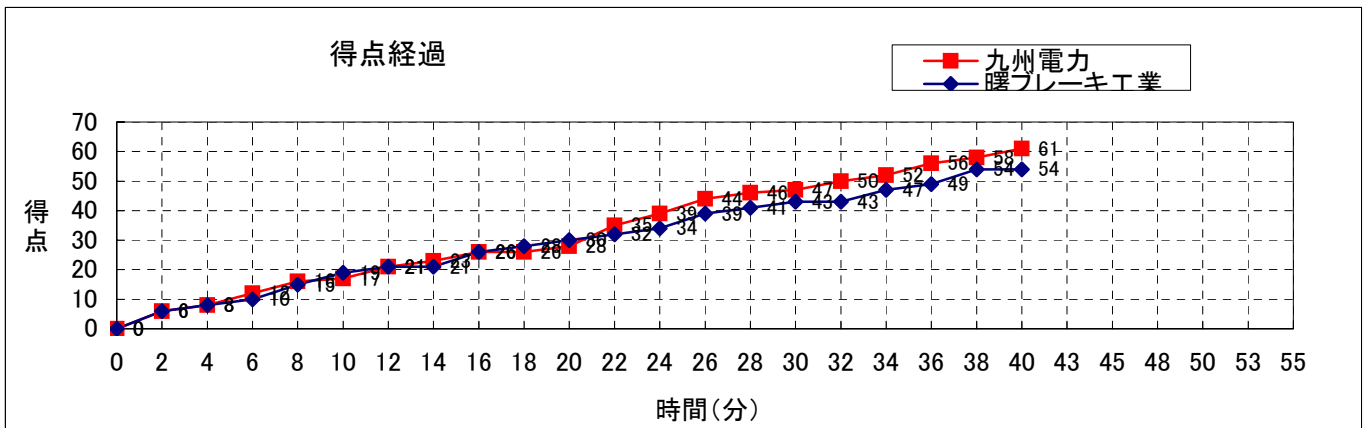
第3ピリオド、九州電力は#8岡や#35熊谷の3Pで突き放しにかかるが、曙ブレーキ工業は#9熊のインサイドなどで点差が広がらないよう粘る。その後、九州電力は相手のミスから#8岡の速攻や#45根岸のバスケットカウントで得点し、流れは九州電力かと思われたが、曙ブレーキ工業の#32藤原の3Pや#34金城のゴール下で応戦し、一進一退の展開が続き、47-43と九州電力が4点リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始直後、九州電力#45根岸のバスケットカウントからペースは九州電力に傾きかけたが、相変わらず曙ブレーキ工業#9熊のリバウンドシュートや#17田村のドライブ等で得点し、逆に曙ブレーキ工業のペースになりかけた残り5分6秒に九州電力がタイムアウトを取って、流れを止める。その直後から九州電力は#45根岸が連続で相手のファウルを誘い、フリースローで得点を重ねる。一方、曙ブレーキ工業は#32藤原の3P等で必死に食下がる。残り33秒、得点58-54で4点ビハインドの曙ブレーキ工業がタイムアウト。

その後、#17田村が早めの3Pを狙うが、リングに嫌われ得点出来ず、九州電力が曙ブレーキ工業を下し三連覇を果たした。

担当者: 新出 光昭, 鶴見 智厚(北陸実業団連盟)

一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟



大会名称: **高松宮記念杯 第45回全日本実業団バスケットボール選手権大会**

開催場所: **いしかわ総合スポーツセンター Eコート**

試合区分: **No. 17 女子 決勝**

期 日: **2013(H25)年2月12日(火)**

主審: **中江 洋美**

開始時間: **11:40**

副審: **池松 和久, 尾形 美樹**

秋田銀行 (東北1)	○ 65	17	—	10	● 49	山形銀行 (東北2)
		11	—	11		
		16	—	16		
		21	—	12		
		—	—	—		

女子決勝は、秋田銀行と山形銀行の東北同士の戦いとなった。

第1ピリオド試合開始早々、秋田銀行は#10加藤の3点シュートで先行すると、山形銀行も#9佐藤のミドルシュートで対抗。両チームともにスムーズな立ち上がりとなった。その後、一進一退の攻防が続く。秋田銀行は#13伊藤のミドルシュートがよく決まり、15-8とリードする。山形銀行はディフェンスをマンツーマンに替え、流れをつかもうとするが、結局17-10と秋田銀行のリードで第1ピリオドは終了。

第2ピリオド山形はディフェンスをマンツーマンに戻すと、徐々にペース戻し始める。山形銀行#9佐藤の3点、#10の阿部の2点で19-15の4点差まで詰め寄せると、秋田銀行は選手の入替でリズムを変えようとする。残り4分38秒、秋田銀行のタイムアウト。変化を見せたのは山形銀行。ゾーンプレスを変えたディフェンスで相手のミスを誘うが、秋田銀行#13伊藤のシュートがよく決まり、残り3分で26-19と秋田銀行がリードを広げる。山形銀行は秋田銀行のマッチアップゾーンを攻略出来ず、中々得点が伸びない。結局28-21で第2ピリオド終了。

第3ピリオド、出だし、山形銀行は#12安井の3点シュートが決まり、勢いにのりたいたいところだが、秋田銀行#13伊藤のシュートが止まらない。開始3分には35-24と秋田銀行が11点のリードを見せる。残り5分46秒、流れを変えたい山形銀行がタイムアウト。するとすぐさま山形銀行#10阿部のバスケットカウントが決まる。山形銀行は一気に追いつきたいところだが、秋田銀行#5横山のミドルシュートが決まり、10点差の均衡が続く。残り3分、秋田銀行#13伊藤の3点シュートが決まり、42-30と秋田銀行のリードが広がるが、山形銀行#11青山のシュートも決まり、44-37と食い下がる。

第4ピリオド、最初に得点を決めたのは秋田銀行。#12成田の3点シュートが決まり、47-37と再び10点差に広げる。残り7分39秒、秋田銀行#13伊藤のシュートが決まり、49-37になったところで、山形銀行のタイムアウト。残り6分、山形銀行は#10阿部の連続3点シュートと、さらには秋田銀行のターンオーバーも誘い、52-47と5点差まで詰め寄せ。秋田銀行はたまたまタイムアウト。残り3分30秒、両チーム苦しいところで秋田銀行#13伊藤の3点シュートが決まり、57-47と秋田銀行のリード。山形銀行は、後半3回目のタイムアウトを取り逆転に望みをかけるが、最後までペースをつかむことができず、結局65-49で秋田銀行が5年ぶり7回目の優勝を飾った。

担当者: 中江 祐萁(北陸実業団連盟)

一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟

